

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【公開番号】特開2009-145289(P2009-145289A)

【公開日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-026

【出願番号】特願2007-325481(P2007-325481)

【国際特許分類】

G 04 G 5/00 (2006.01)

G 04 C 9/02 (2006.01)

【F I】

G 04 G 5/00 J

G 04 C 9/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

時刻を計時する計時手段と、

時刻情報を含む標準電波を受信する受信手段と、

前記計時手段によって計時されている計時時刻を前記標準電波に基づいて修正する時刻修正手段と、

前記標準電波の受信を許可する受信許可モードと前記標準電波の受信を禁止する受信禁止モードとの切り替えを制御するモード制御手段と、

を備え、

前記モード制御手段は、前記受信手段に対して、前記受信許可モードでは受信許可信号を出力するとともに、前記受信禁止モードでは受信禁止信号を出力し、

前記受信手段は、前記受信禁止信号が入力されたときは、前記受信許可信号が入力されるまで前記標準電波の受信処理を実行しないことを特徴とする電波修正時計。

【請求項2】

前記計時手段によって計時される時刻を表示する表示手段を備え、

前記表示手段によって、前記受信禁止モードであることを表示することを特徴とする請求項1に記載の電波修正時計。

【請求項3】

前記表示手段は、日および曜の少なくともいずれかを含む暦を表示する暦表示手段を含み、前記暦表示手段によって、前記受信禁止モードであることを表示することを特徴とする請求項2に記載の電波修正時計。

【請求項4】

前記表示手段は、電池の充電量を表示する充電量表示手段を含み、前記充電量表示手段によって、前記受信禁止モードであることを表示することを特徴とする請求項2に記載の電波修正時計。

【請求項5】

前記表示手段は、受信した地域または受信局を表示する受信地域表示手段を含み、前記受信地域表示手段によって、前記受信禁止モードであることを表示することを特徴とする

請求項2に記載の電波修正時計。

【請求項6】

前記表示手段は、指針部材を用いることを特徴とする請求項2～5のいずれか一つに記載の電波修正時計。

【請求項7】

前記表示手段の左半分の領域内において前記受信禁止モードであることを表示することを特徴とする請求項6に記載の電波修正時計。